

秋季選抜大会競技規則・運営要項

1. 競技規則

2017年日本野球規則、及び県中体連野球専門部の申し合わせ事項による。

2. 競技方法ならびに注意事項

- ① 1試合7イニングスを持って正式試合とし、トーナメント方式で戦う。
- ② 5回以降7点以上差がついた時は、コールドゲームを宣言する。(すべての試合で適用)
- ③ タイブレイクについて
延長戦は行わず、勝敗が決しない時は8回より次のようなタイブレイクを適用する。
(1) 継続打順で前回の最終打者を1塁走者とし、2塁、3塁の走者は順次前打者とする。すなわち、無死満塁の状態にして1イニング行い、得点の多い方を勝ちとする。勝敗の決しない場合は、さらに継続打順で得点差が生じるまでこれを繰り返す。
(2) 選手の交代等は通常の規定がそのまま適用される。
- ④ 【シェルコムせんだい特別規定】
*金属スパイクの使用が認められていないので、アップシューズ又は人工芝用スパイク等チームで統一されていなくともかまわない。
- ⑤ バットについては、J S B Bのマークのついたものとする。
- ⑥ 捕手のレガース・ヘルメット・プロテクター・スロートガード・マスクはつけるものとする。控え捕手も同様の装備とする。
- ⑦ 体当たりで代表されるようなラフプレーを禁止する。
- ⑧ 危険防止のため、極端な前進守備を避けるように徹底する。
- ⑨ 打者・走者・次打者のヘルメット(両耳用)は、必ずつけるものとする。
- ⑩ 危険防止のため、試合会場での練習において打撃練習はバントとトスのみとし、フリーバッティングなどは行わない。また、バットリング、鉄棒、マスコットバット、公認球以外のボール等、試合で使用できない用具の球場への持込を禁止する。
- ⑪ メガホンのベンチ持ち込みは1個とし、監督のみ使用を認める。

3. 運営に関する事項

- ① 出場校は、定刻1時間前に集合し、本部に通告すること。
- ② 試合前のフィールドイングは原則として7分以内とする。
- ③ 試合前、両チームは5通の打順表を大会本部に提出する。
- ④ プレーヤーズ・ベンチには、登録された者の他は入れない。
- ⑤ 登録選手は、ポジション順に背番号をつけること。
- ⑥ 1、3塁コーチは、ユニフォーム着用 of 選手に限る。
- ⑦ 選手交代の通告は監督が行う。コーチは試合前のノックを行うとき以外はベンチからでないものとする。
- ⑧ 投手交代を伴わない監督による守備のタイムは1イニング1度とする。
- ⑨ 規則5. 10原注[前段]「投手は同一イニングで投手以外の守備についたら、再び投手となる以外他の守備位置に移ることもできないし、投手にもどってから投手以外の守備位置に移ることもできない」は適用しない。
- ⑩ 『監督が投手のところへ行く回数の制限』(8.06関連)
(1) 監督が、同一イニングに同一投手のところへ二度目に行くか、行ったと見なされた場合(伝令を使うか、捕手または他の野手に指示を与えて直接投手のところへ行かせた場合)は、投手は自動的に交代しなければならない。”中学校野球”では、交代した投手が、他の守備位置に行くことが許される。
(2) 捕手または野手が、一試合に投手のところへ行ける回数を、7イニングスの試合にあっては3度以内とする。なお、延長戦(特別延長戦も含む)になった場合は、2イニングスに一度行くことができる。

- (3) 監督が、相手チームのタイム中、投手のところへ行くことは差し支えないが、プレイの再開を遅らせた場合は、投手のところへ一度行ったこととする。
- (4) 監督が投手のところへ一度行くか行ったと見なされた場合は、球審は、あと一度行けば投手を交代させなければならない旨を知らせる。なお、一度目に知らせなかった場合は、二度目に行こうとしたとき、球審はその旨を知らせなければならない。ただし、球審が知らせなくても、監督が、同一イニングに同一投手のところへ二度に行くか、行ったと見なされた場合は、投手は自動的に交代することになる。
- ⑪ 当事者、監督以外の者の抗議は厳禁する。
- ⑫ 故意に試合の進行を妨げるような行為は絶対しないこと。
- ⑬ 選手の頭髪、身なり等は中学生らしく、試合中はもちろんのこと試合の前後においてもスポーツマンらしくマナーには十分注意すること。
- ⑭ 試合終了後のあいさつはホームプレートを挟んですべて完了することとし、次の試合のために速やかにベンチをあけること。
- ⑮ 各チームの部長か監督は、球場を去る前に本部に連絡し、次の試合日程の確認を行うこと。
- ⑯ 登録選手の変更は、校長の理由書とともに大会前日までに委員長校に文書で提出し、部会長の許可を得る。
- ⑰ 上位入賞校が所属する地区には次年度県中総体の代表追加枠を与える。
- ⑱ 学校閉鎖等の事情により、代表校が急遽出場できなくなった場合は、各ブロックの補欠校が出場する。
- ⑲ 投手は1日に7イニングを越えて投球をすることができない。ただしタイブレークは除くものとする。

4. 登録人員

1チームの編成は、監督（引率責任者）1名、選手18名以内（18名以外にスコアラーを1名おくことができる）とする。チーム事情に応じ、コーチ2名を追加することができる。但し、外部コーチは1名までとする。

5. 使用球

（財）全日本軟式野球連盟公認球 軟式ボールB号

